



第81期 中間報告書

# 株主通信

平成20年4月1日～平成20年9月30日



株式会社 指月電機製作所  
<http://www.shizuki.co.jp/>

証券コード 6994  
東証二部・大証二部

# 環境変化に強い体質づくりを目指しています。

## 経営環境の急変にも対応できる体制を

おかげさまで、2010年度を目標とする中長期計画(AIM2010)は、平成21年3月期の通期予想で、1年前倒しの203億円を達成できる見通しとなりました。

この秋からにわかに悪化してきた経済動向にも関わらず、この予想を提示できるのも、まずお客さまのご要望を起点として、たとえ1個からのご注文でも誠実に対応してきた結果だと考えております。

コンデンサ、電力機器、情報機器の三部門の実績は細目をご高覧いただくとして、どの部門でも一貫して大切にしているのは、多様なお客さまのご要望にこまやかに対応していく姿勢です。そのことを、管理層だけでなく、現場の社員ひとりひとりが「考働」とし

て実践できる企業体質を築き上げてまいりました。

そのことが結果として、困ったときは「シツキに頼もう」と思っていただけ、信頼へとつながったのではないかと考えております。

## お客さまからの課題に、「感動」で応える

企業は、お客さまあってのもので。よく「顧客満足」という言葉が経営課題として口に出されますが、ただ満足いただくだけなら企業として「普通」であって、どんな経営環境であっても生き残る企業とは言えないのではないかと考えています。

「満足」を超えて、「感動」していただけるような商品やサービス、対応ができないか？というのが私たちシツキのテーマです。たとえば、お客さまから

## 社 是

我々は人間性を尊重し

環境を大切にする無駄のない物づくりにより

お客様に満足を提供し

社業の発展を通して社会に貢献します

## AIM2010 シツキが目指す2010年度のあるべき姿

2010年 > 売上高

**220億円**

(2008年度見込み 203億円)

2010年 > 営業利益

**22億円**

(2008年度見込み 13.0億円)

2010年 > 総資産経常利益率(ROA)

**12%**

(2008年度見込み 7.4%)

2010年 > 一株当り利益(EPS)

**40.0円**

(2008年度見込み 26.7円)

— IIMS (Shizuki Integrated Management System) 経営の実践 —

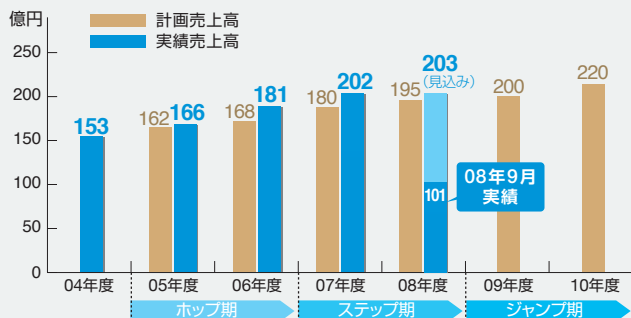
大変コストの厳しいご注文をいただいても、お断りするという簡単な道を選ぶのではなく、困難でもなんとか利益につなげていく道を探っていくことです。そこにお客さまがいて、商品を欲しいとおっしゃるなら、そのご要望を実現する道を探る姿勢こそが「感動を提供する」ということなのです。

現実の企業経営では、現場の単純計算だけでは出てこない、企業生き残りの戦略というものが大切になってまいります。まず「お客さまの感動」を求める経営は、株主の皆さまにはわかりにくい側面もあるかとは存じますが、長い目で当社を見ていただき、引き続きご支援いただけますよう、よろしく願いいたします。

代表執行役社長 梶川 泰彦



売上高目標



経営指標

項目	単位	ホップ期		ステップ期		ジャンプ期	
		05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度
営業利益	億円	13.7	16.7	18.9	13.0	19.4	22.0
総資産経常利益率(ROA)	%	8.1	9.5	10.6	7.4	11.0	12.0
一株当り利益(EPS)	円	27.1	26.0	55.7	26.7	35.0	40.0
		実績				見込み	
						計画	

## TOPICS

## TOPICS #01

## 風力発電向け案件稼働！

## インバータ平滑用コンデンサ

米国、中国、その他諸外国での需要が見込まれている風力発電用コンデンサで、海外向け大口案件が進展中です。

風力発電装置は建設コストを含めたトータルコストの低減および設置場所確保(海上や山頂など)のために大型・大容量化してきていますが、その発電された電気の品質を安定させるためのインバータ平滑用コンデンサの需要が拡大してまいりました。当社の高い技術力により小型化を実現、お客さまから高く評価をいただいています。この案件を端緒として、今後、風力発電市場の開拓が期待されます。



インバータ平滑用コンデンサ

## TOPICS #02

## 海外向け原子力発電に採用

プラント内インバータ  
直流フィルタコンデンサ

現在、CO<sub>2</sub> 低減エネルギーとして見直し気運が高まっている原子力発電プラント。そのメーカー様より、海外向け原子力発電所用の直流フィルタコンデンサの受注をいただきました。今後3年程度をかけて順次納入予定となっています。従来のオイルコンデンサよりも小型化した乾式コンデンサの提案が評価されました。当社の乾式コンデンサは一般産業用としてオイルコンデンサのリプレース用途でも採用いただくことが多く、その実績が評価されての事でもあります。今後の原子力発電市場における受注拡大が見込まれます。

プラント内インバータ  
直流フィルタコンデンサ

## TOPICS #03

## 電気品質の確認で高評価！

## 瞬低モニタ

工場などでの瞬時の電圧低下(=瞬低)を監視し、波形データを記録する「瞬低モニタ」がお客さまからご好評をいただいています。各種工場など、瞬低による生産効率の大幅ダウンでお困りのお客さまでは、その原因が「瞬低」であるかどうかの実態把握が必要です。当社の瞬時電圧低下・短時間停電補償装置であるV-Backupシリーズの導入検討時、あるいは導入前に、「瞬低モニタ」があれば、瞬低の時期や回数、頻度などを把握し、対策を打つべき装置・箇所が特定できます。今夏は特に落雷による瞬低が多発し、ご使用の多くのお客さまから、「実態把握に役立った」と評価をいただきました。



瞬低モニタ

電気の安定供給を支える —

## 瞬低・短時間停電補償装置って何だろう？

瞬低・短時間停電補償装置  
V-Backupシリーズ

なるほど  
シツキの  
技術力！

### 半導体など、高度な部品製造の生産効率向上に直結。

半導体製造や、産業用フィルム製造の工程では、電圧の降下が製品の品質に大きな影響を与えます。落雷や大雪による電線障害によって一瞬の電圧低下が起きるだけで、1ロット分の大量な不良品が発生することもめずらしくなく、当社の高速・大容量の瞬低・短時間停電補償装置が大きな効果を発揮しています。



V-Backup660

こんなところで、瞬時電圧低下の問題を解決しています。

半導体  
製造

ウェハに部品を多数焼き付ける製造工程であり、ウェハの大型化に伴い瞬低は更に大きな問題に。

フィルム  
製造

高機能材料としてのフィルムは、巻き取り装置のテンション異常で、フィルムが断裂、生産停止。

薬品  
関係

電圧降下により、製造工場内の空調内圧によるホコリ遮断装置が機能低下、薬品が不良品に。

ここが  
スゴい！

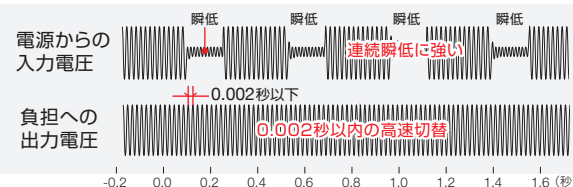
## 1000分の2秒という高速切り替えを実現！



ここが  
スゴい！

### 大容量で、連続補償を実現！

電力をバックアップする蓄電部品として、高速な充放電が可能で、しかも大容量供給が可能な電気二重層コンデンサを搭載。高速半導体スイッチとの連携で従来にない画期的なバックアップ環境を実現しています。



## 事業概要と展望

国内外の経済はサブプライムローン問題を発端とした金融不安、株価下落により設備投資の抑制、個人消費の低迷が顕在化し、世界的に景気の後退局面に入っておりまいた。しかし、省エネ・化石エネルギー代替への動きは活発な状況が継続しております。このような市場環境のもと、お客さま目線で提案型ビジネスに一丸となって取り組んだ結果、上期は概ね計画通りの事業遂行となりました。

なお、下期以降の事業環境は厳しく、不安定かつ不透明感は更に強まっております。従いまして、引き続きお客さまにご満足していただけるよう当社の強みを発揮してまいります。

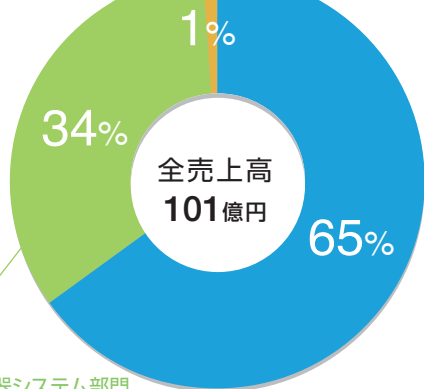
株主の皆様にはますますのご支援、ご鞭撻を賜りたく何卒よろしくお願い申し上げます。

### 部門別売上高比率（2008年9月）

情報機器システム部門      コンデンサ・モジュール部門

売上高 1億円

売上高 66億円



電力機器システム部門

売上高 34億円

売上高  
構成比率  
65%

## コンデンサ・モジュール部門

自動車市場の減速はあったものの、世界的な省エネ・化石エネルギー代替の動きのもと電鉄車両、新エネルギー発電（風力・太陽光）などの需要拡大に伴う産業装置用大型インバータ機器市場が大幅に伸張し、売上げが増加しました。今後、これらの需要は、更に拡大するものと予測されます。引き続き、市場ニーズに適合した、高性能のフィルムコンデンサ、ならびに電気二重層コンデンサの開発を進めてまいります。

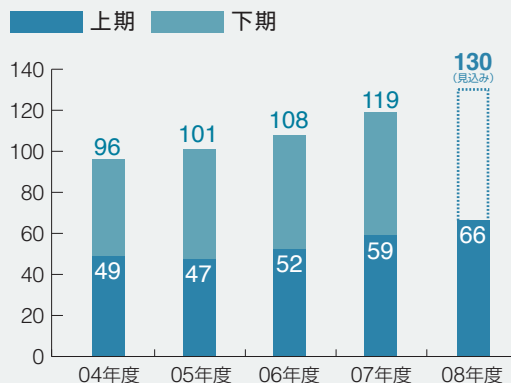


電気二重層コンデンサ  
FARADCAP  
(FMAタイプ)

HEVインバータ用  
コンデンサ

水冷コン

### コンデンサ・モジュール部門売上高（単位：億円）



売上高  
構成比率  
**34%**

## 電力機器システム部門

景気後退による国内設備投資需要の減速により、「力率改善装置」「電力品質改善装置」の受注が減少いたしました。

一方、今期も製造業を中心に操業度向上を目的として「瞬時電圧低下・短時間停電補償装置」及び「瞬低モニタ」の引合い件数が増加しました。今後も厳しい市場環境が見込まれますが、引き続き受注拡大を図ってまいります。

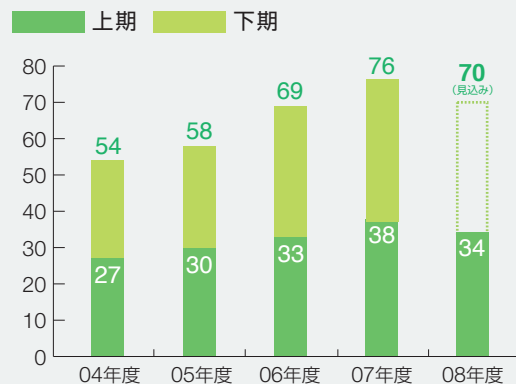


高圧進相コンデンサ用  
直列リアクトル(乾式)

高圧進相コンデンサ

アクティブフィルタ

### 電力機器システム部門売上高（単位:億円）



売上高  
構成比率  
**1%**

## 情報機器システム部門

大型商談の端境期にあるため、売上高は前年同期比の48.0%減少となりました。厳しい状況ではありますが、当社の主力商品である「空港用表示装置」「鉄道用表示装置」「バス搭載の表示装置(行先・運賃・音声合成装置)」の商品力及び営業活動強化を図ってまいります。

また、新商品開発、ならびに既設品リニューアル対応も継続し進めてまいります。

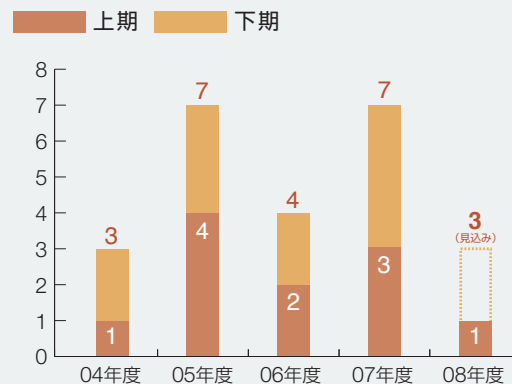


鉄道用表示装置

バス用表示装置

空港用表示装置

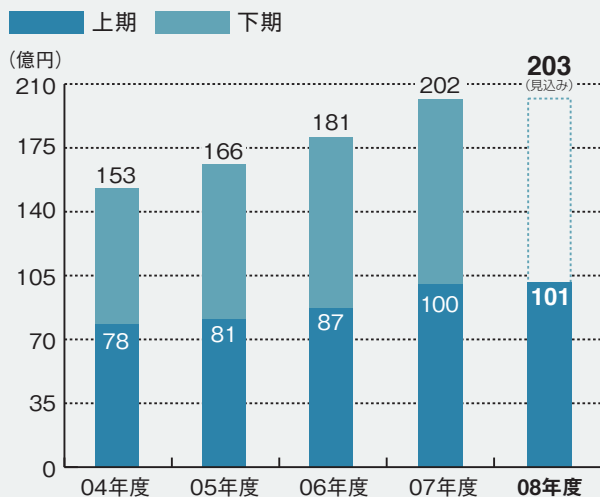
### 情報機器システム部門売上高（単位:億円）



## 財務ハイライト(連結)

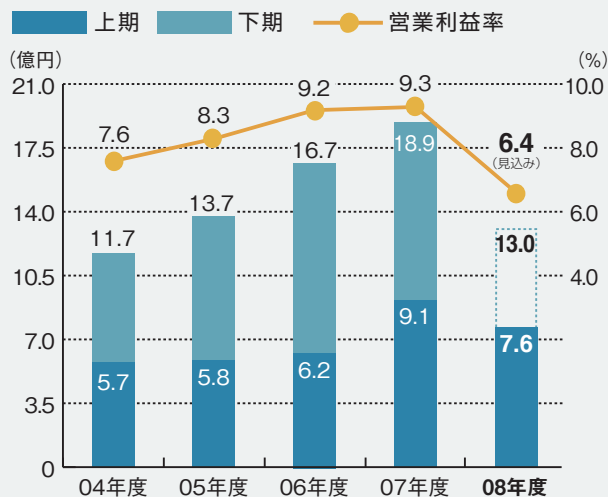
## 売上高

## 前年比微増収に留まる



## 営業利益・営業利益率

## 上期善戦するも通期では大幅減益見込み



## POINT

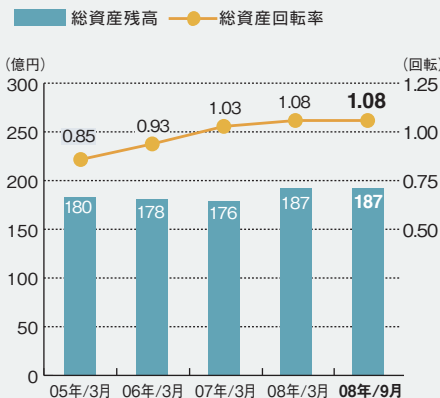
## 通期で減益不可避見込み

売上高は前年比増加の見込みですが、世界的な景気後退を受け営業利益以下は減益の見込みです。

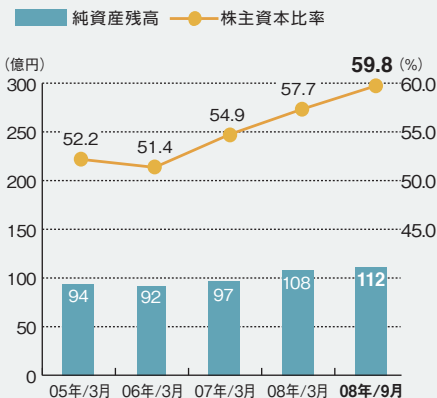
## 財務体質改善進展中

総資産回転率、株主資本比率、有利子負債依存度、棚卸資産回転率など改善基調を堅持しており、効率的な経営に努めております。

## 総資産残高・総資産回転率



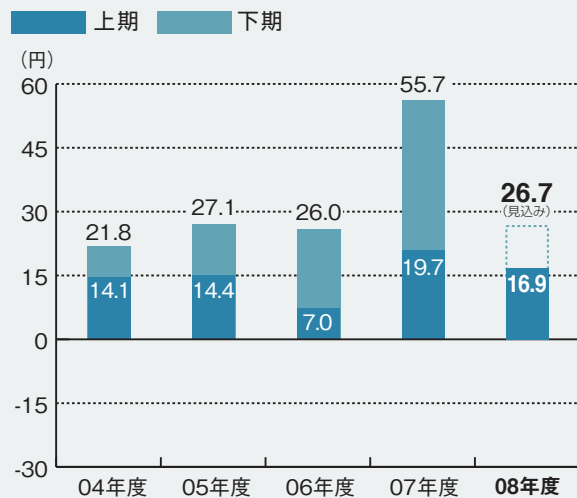
## 純資産残高・株主資本比率





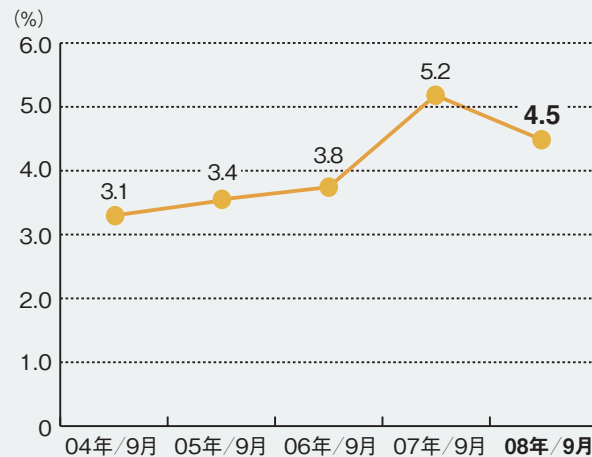
## 1株当たり利益(EPS)

### 通期では26.7円確保見込み

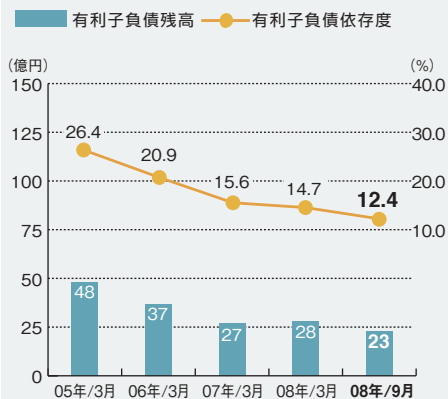


## 総資産経常利益率(ROA)

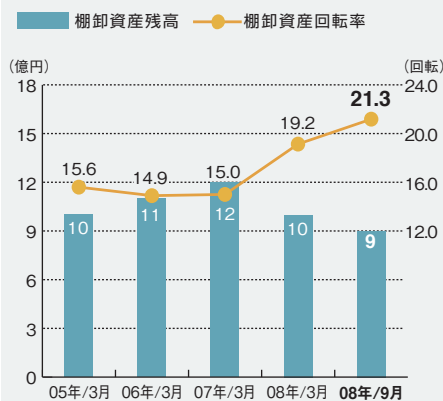
### トレンドとしては右肩上がり確保



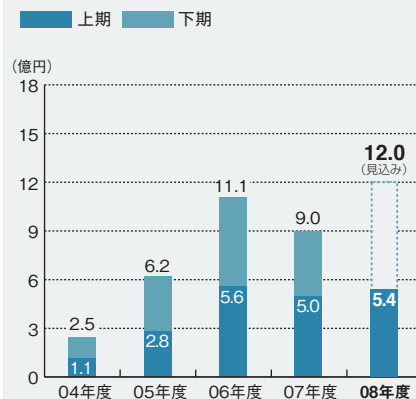
## 有利子負債残高・有利子負債依存度



## 棚卸資産残高・棚卸資産回転率



## 設備投資額



(注) 十万円の位を切り捨てて表示しております。

## 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	第80期中間 平成19年9月30日現在	第81期第2四半期 平成20年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	8,115	8,904
現金及び預金	2,544	3,334
受取手形・売掛金	4,016	4,223
棚卸資産	1,138	947
その他資産	416	400
貸倒引当金	△0	△1
固定資産	10,002	9,812
有形固定資産	8,536	8,519
建物及び構築物	2,252	2,131
機械装置及び運搬具	1,255	1,489
土地	4,425	4,405
建設仮勘定	392	291
その他	209	200
無形固定資産	94	65
投資その他の資産	1,371	1,227
投資有価証券	813	599
長期貸付金	47	33
その他	562	632
貸倒引当金	△52	△37
資産合計	18,118	18,716

(単位:百万円)

科目	第80期中間 平成19年9月30日現在	第81期第2四半期 平成20年9月30日現在
<b>負債の部</b>		
流動負債	3,993	4,776
買掛金	905	968
短期借入金	1,063	2,028
未払費用	838	1,073
未払法人税等	402	85
引当金	429	419
その他	354	200
固定負債	4,076	2,714
長期借入金	1,600	300
退職給付引当金	1,039	979
その他	1,436	1,434
負債合計	8,069	7,490
<b>純資産の部</b>		
株主資本	9,596	10,980
資本金	5,001	5,001
資本剰余金	3,295	3,302
利益剰余金	2,294	3,643
自己株式	△994	△967
評価・換算差額等	417	212
その他有価証券評価差額金	271	71
土地再評価差額金	834	859
為替換算調整勘定	△687	△718
少数株主持分	34	33
純資産合計	10,048	11,226
負債純資産合計	18,118	18,716

(注)十万円の位を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	第80期中間	第81期第2四半期
	平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで
売上高	9,969	10,096
売上原価	7,045	7,252
売上総利益	2,924	2,843
販売費及び一般管理費	2,011	2,087
営業利益	912	755
営業外収益	108	153
営業外費用	86	72
経常利益	935	837
特別利益	—	—
特別損失	—	—
税金等調整前四半期純利益	935	837
法人税、住民税及び事業税	390	74
法人税等調整額	△44	253
少数株主利益	—	4
少数株主損失	0	—
四半期純利益	590	505

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	第80期中間	第81期第2四半期
	平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	768	1,631
投資活動によるキャッシュ・フロー	△540	△539
財務活動によるキャッシュ・フロー	△74	△498
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△7
現金及び現金同等物の増減額	154	586
現金及び現金同等物の期首残高	2,390	2,747
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,544	3,334

## 連結株主資本等変動計算書

第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算 差額等	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成20年3月31日残高	5,001	3,297	3,242	△989	10,552	257	30	10,840
第2四半期連結累計期間中の変動額								
剰余金の配当			△104		△104			△104
四半期純利益			505		505			505
自己株式の処分		4		21	26			26
株主資本以外の項目の第2四半期 連結累計期間中の変動額(純額)						△44	2	△42
第2四半期連結累計期間中の変動額合計	—	4	401	21	427	△44	2	385
平成20年9月30日残高	5,001	3,302	3,643	△967	10,980	212	33	11,226

(注) 十万円の位を切り捨てて表示しております。

## 個別貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	第80期中間 平成19年9月30日現在	第81期第2四半期 平成20年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	7,246	8,103
現金及び預金	1,933	2,584
受取手形・売掛金	3,717	3,985
棚卸資産	402	274
その他資産	1,193	1,260
貸倒引当金	△0	△1
固定資産	9,188	8,733
有形固定資産	5,642	5,415
建物及び構築物	1,146	1,005
機械装置及び運搬具	236	185
土地	4,164	4,144
建設仮勘定	5	4
その他	90	75
無形固定資産	55	38
投資その他の資産	3,491	3,279
投資有価証券	812	596
長期貸付金	1,832	1,469
その他	1,449	1,688
貸倒引当金	△603	△474
資産合計	16,435	16,837

(単位:百万円)

科目	第80期中間 平成19年9月30日現在	第81期第2四半期 平成20年9月30日現在
<b>負債の部</b>		
流動負債	3,354	4,473
買掛金	1,247	1,447
短期借入金	1,000	1,900
未払費用	471	842
未払法人税等	357	36
引当金	190	187
その他	87	59
固定負債	3,265	1,898
長期借入金	1,600	300
退職給付引当金	228	164
その他	1,436	1,434
負債合計	6,619	6,372
<b>純資産の部</b>		
株主資本	8,710	9,534
資本金	5,001	5,001
資本剰余金	3,295	3,302
利益剰余金	1,407	2,197
自己株式	△994	△967
評価・換算差額等	1,105	930
その他有価証券評価差額金	271	71
土地再評価差額金	834	859
純資産合計	9,816	10,465
負債純資産合計	16,435	16,837

(注)十万円の位を切り捨てて表示しております。

## 個別損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

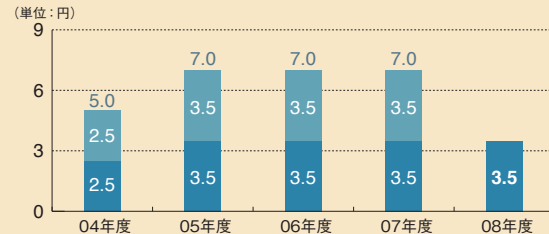
科目	第80期中間	第81期第2四半期
	平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで
売上高	8,831	9,106
売上原価	6,485	6,868
売上総利益	2,345	2,238
販売費及び一般管理費	1,560	1,602
営業利益	785	635
営業外収益	65	117
営業外費用	68	62
経常利益	781	690
特別利益	45	-
特別損失	-	-
税引前四半期純利益	826	690
法人税、住民税及び事業税	345	17
法人税等調整額	△12	269
四半期純利益	494	403

## 中間配当金 1株当たり3円50銭

当期の中間配当金は、1株当たり3円50銭とさせていただきます。

1. 中間配当金 1株当たり3円50銭
2. 支払対象者 平成20年9月30日最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者
3. 支払開始日 平成20年11月28日

## 1株当たりの配当実績



## 個別株主資本等変動計算書

第2四半期累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算 差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
平成20年3月31日残高	5,001	3,297	1,899	△989	9,209	983	10,192
第2四半期累計期間中の変動額							
剰余金の配当			△104		△104		△104
四半期純利益			403		403		403
自己株式の処分		4		21	26		26
株主資本以外の項目の第2四半期 累計期間中の変動額(純額)						△52	△52
第2四半期累計期間中の変動額合計	-	4	298	21	324	△52	272
平成20年9月30日残高	5,001	3,302	2,197	△967	9,534	930	10,465

2008年9月30日現在

## 株式の状況

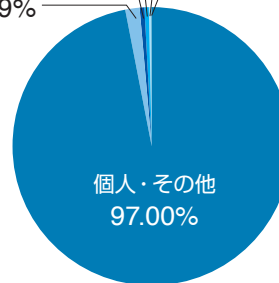
会社が発行する株式の総数	128,503,000株
発行済株式の総数	33,061,003株
当中間期末株主数	4,560名

## 大株主（上位10名）

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
三菱電機株式会社	6,981	21.1
ゴールドマンサックス インターナショナル	2,834	8.6
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社	1,353	4.1
株式会社りそな銀行	1,299	3.9
株式会社みなと銀行	925	2.8
指月協友持株会	764	2.3
東京海上日動火災保険株式会社	565	1.7
株式会社ノーリツ	560	1.7
株式会社三菱東京UFJ銀行	432	1.3
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社	398	1.2

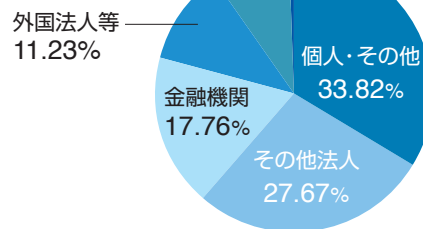
## 所有者別株主数分布状況

外国法人等 0.50%  
証券会社 0.53%  
その他法人 1.69%  
金融機関 0.26%  
自己名義株式 0.02%

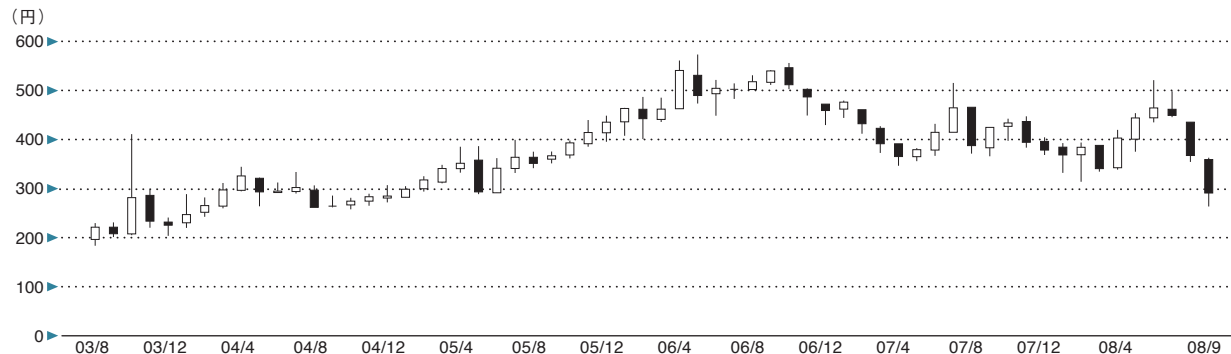


## 所有者別株式数分布状況

自己名義株式 9.14%  
証券会社 0.38%



## 株価チャート



2008年9月30日現在

## 会社概要

商号	株式会社指月電機製作所	
英文名称	SHIZUKI ELECTRIC COMPANY INC.	
本店所在地	〒662-0867 兵庫県西宮市大社町10番45号 TEL:0798-74-5821	
ホームページ	http://www.shizuki.co.jp/	
創業年月日	昭和14年3月10日	
設立年月日	昭和22年9月1日	
資本金	5,001,745,595円	
グループ従業員数	1,273名	
主要取扱業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コンデンサ及び関連機器・装置</li> <li>●電力機器・装置</li> <li>●情報機器・装置</li> </ul> <div style="margin-left: 150px;">} の製造販売</div>	
営業拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>●東京支社</li> <li>●東京支店／関西支店／中部支店</li> <li>●札幌営業所／仙台営業所／日立営業所 広島営業所／福岡営業所</li> <li>●マレーシア連絡事務所／韓国連絡事務所</li> </ul>	

## 役員

## 取締役

※社外取締役

取締役会長	梶川 泰彦
取締役	木佐木 正文
取締役	川本 十七生
取締役	山下 正孝※
取締役	池田 義範※
取締役	増田 幹登※

## 執行役

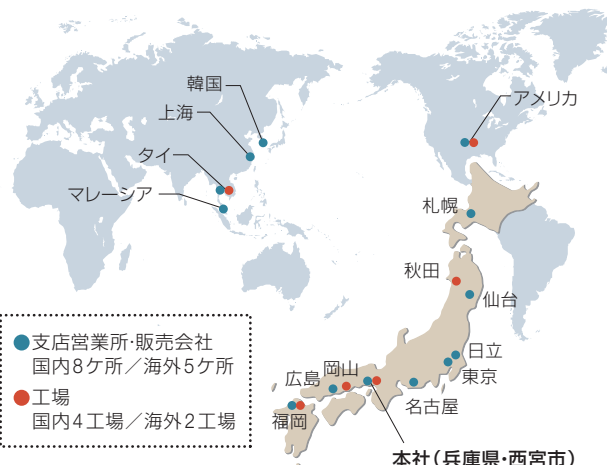
代表執行役社長	梶川 泰彦
専務執行役	木佐木 正文
常務執行役	志方 正一
常務執行役	足達 信章
常務執行役	浦屋 昌吾
執行役	谷口 義裕
執行役	伊藤 薫
執行役	松井 啓真
執行役	矢部 久博
執行役	小田 敦

## 生産子会社

社名	資本金	出資比率(%)
九州指月株式会社(福岡県)	300,000千円	100.0
秋田指月株式会社(秋田県)	300,000千円	100.0
岡山指月株式会社(岡山県)	100,000千円	100.0

## 販売・生産子会社

社名	資本金	出資比率(%)
アメリカンシツキ株式会社 (米国 ネブラスカ州)	17,600千米ドル	100.0
指月獅子起(上海)貿易有限公司	250千米ドル	100.0
タイ指月電機株式会社(タイ バンコク)	33,000千バーツ	70.0



# 株 主 メ モ

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
期末配当金支払確定日	毎年3月31日
中間配当金支払確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同 事務取扱場所 (お問い合わせ先)	〒530-0004 大阪市北区堂島浜1丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL:0120-094-777(通話料無料)
	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 野村證券株式会社 全国本支店
同 取次所	<b>【株式に関するお手続き用紙のご請求について】</b> 株式に関するお手続き用紙(届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書等)のご請求につきましては、以下のお電話およびインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。なお、株券電子化実施後は、 <u>特別口座に記録された株式についてのお手続き用紙のみとなりますので、ご注意ください。</u> <ul style="list-style-type: none"><li>●電話(通話料無料) TEL : 0120-244-479(証券代行部) TEL : 0120-684-479(大阪証券代行部)</li><li>●インターネットアドレス <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a></li></ul>
公告の方法	当社は以下のURLで電子公告を行います。 <a href="http://www.shizuki.co.jp/">http://www.shizuki.co.jp/</a> ※事故その他のやむをえない事由により、電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第2部 大阪証券取引所 市場第2部

## 【ご注意】

### 株主名簿管理人の「取次所」の定めについて

株券電子化後、株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社経由で行っていただくこととなるため、株主名簿管理人の「取次所」は、株券電子化の実施時をもって廃止いたします。

なお、未受領の配当金のお支払いにつきましては、引き続き株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。

## 平成21年1月5日施行の 株券電子化実施に伴うお知らせ

### 株券電子化前後における 単元未満株式買取請求について

株券電子化の前後においては、単元未満株式買取請求につきましては、以下のとおりとなりますので、ご留意ください。

1)証券保管振替制度をご利用でない単元未満株式  
平成21年1月5日(月)から平成21年1月25日(日)までは、受付をいたしません。また、平成20年12月25日(木)から12月30日(火)までのご請求受付分につきましては、買取価格はご請求受付日の終値を適用いたしますが、買取代金のお支払いを平成21年1月30日(金)とさせていただきます。

### 2)証券保管振替制度をご利用の単元未満株式

株券電子化実施の前後において、一定期間お取引の証券会社で取次ぎを行わないと承っております。具体的な日程につきましては、証券会社により異なることが考えられますので、お取引の証券会社にお問い合わせください。

## 『指月(シヅキ)』社名の由来

『指月』の社名は、創業者山本重雄が長州(現在の山口県)の出身であること、また幕末長州藩の一代家老として藩政改革で功を成した村田清風が先祖にあたることから、毛利家歴代の居城である萩城(指月城)から名をお借りしたのが命名の由来です。



## 株式会社 指月電機製作所

本社 〒662-0867 兵庫県西宮市大社町10番45号  
TEL:0798-74-5821 FAX:0798-73-0807